



第3回 病院祭(大同高校吹奏楽部)



理念

「皆様の信頼と満足」
それを極めることが
私たちの使命です。

基本方針

- 患者の権利を尊重します
- 医療の質の向上に努めます
- 地域社会に貢献します

目次

CONTENTS

- 1** **けんこう・いりょう** >> P02
○診療科案内 在宅診療部の紹介
- 2** **かいご・ふくし・いりょう相談** >> P03
○自宅で療養生活をサポートします!
～大同訪問看護ステーションのご紹介～
- 3** **おやくだち情報** >> P04
○患者図書室「いきいきの森」推薦図書
食育などに関する絵本
○冬も油断大敵!! 病原性大腸菌
- 4** **「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース** >> P05
○イベント報告・案内
- 5** **「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース** >> P06
○名古屋市立大学学生による
COPDの啓蒙活動
○水野医師が厚生労働大臣表彰を
受賞しました!
○技師の勉強会活動がマスコミに
掲載されました!
○職員情報
○講演会・研究会案内
- 6** **あなたの町の「かかりつけ医」** >> P07
○ファミリーランドクリニック南大高
○医療法人嚶鳴会
如来山内科・外科クリニック

1月のトップニュース

NEWS

連携して地域医療を支えます

遺伝子(ゲノム情報)の解析の進歩は、生命の常識を覆すライフイノベーション(医療・介護など健康に関わる分野の革新)の一つです。また、クラウドコンピューティングの発展と人工知能の応用が、急速に医療界にも浸透してきています。今、医療は大きな変革期にあります。



社会医療法人宏潤会 理事長
吉川 公章

一方、我々の住む地域を考えると、最先端の医療だけでなく、様々な疾患の治療を受けながら地域の中でよりその人らしく生活できることも大切なことです。そのためには、地域にある医療資源(医療分野の人・物・財・情報など)をいかに効率的に、持続可能性をもって提供できるかが大切になります。

現在、社会医療法人宏潤会は、経営母体の違いを超え、名古屋市南区、緑区、東海市を中心にして多くの医療機関・介護施設と「医療連携協力事業」を展開しています。住み慣れた地域で素晴らしい医療・介護が継続的に受けられるように、大同病院はその中核メンバーとして、新しい高度な医療に積極的に挑戦していくとともに、地域のために多くの医療機関などと密接な連携事業を展開していきます。



診療科案内 在宅診療部の紹介

在宅診療ときくと、昔ながらのお医者さんの往診を思い浮かべる方が多いかもしれません。静かに療養されている方の脈をとり、ご家族と話して去っていく… 現代の訪問診療は、こうしたイメージだけでは到底語れません。今回は、2017年4月に発足した、だいでうクリニックの「在宅診療部」をご紹介します。

どのようなケースに対応していますか？

病気や障害のために通院が困難な方、特に当クリニックでは、がんを患われた方の在宅療養をサポートしています。定期的にご自宅に伺い、診察やお薬の処方はもちろんのこと、在宅酸素や必要に応じた注射の調整を、患者様の状態やご自宅の状況に応じて行っています。

また、これから在宅診療を利用したいという相談を承ったり、退院前からのサポートを行ったりもしています。

昨年9月にメンバーが増員してからは、より多くの患者様を担当できるようになりました。当クリニックだけでなく、地域の様々な医療・介護機関と連携し、患者様やご家族が安心して療養生活を送れるよう尽力しております。

さらに、大同病院小児科では、以前から障害や難病とともに生きるお子さんの在宅診療を行っています。地域で小児在宅診療の勉強会を開催するなど、先進的な取り組みも行っています。今後は小児期から成人期への移行にあたり、継続してケアが必要な方の診療にも力を入れていきます。



主な診察等

- 在宅酸素療法
- 人工呼吸療法
- 気管切開カニューレ管理
- 成分栄養経管栄養法
- 各種ストーマ管理
- 褥瘡など皮膚症状管理
- 経鼻経管栄養チューブや胃瘻の管理
- 持続皮下注射や点滴静脈内注射などを用いた諸症状の管理
- 疼痛緩和 など



- ① 大村 祐夕乃 看護師
緩和ケア認定看護師
- ② 杉山 由加里 医師
小児科専門医、家庭医療指導医・専門医
- ③ 野々垣 浩二 医師
消化器病指導医・専門医他
- ④ 南 正史 医師
消化器内科医
- ⑤ 小津 美智子 看護師
摂食・嚥下障害看護認定看護師

様々な医療・介護サービスが連携することで、在宅といえども療養環境を整えることができます。住み慣れたご自宅で、ご家族や親族、友人など大切な方々と豊かな時間を過ごしていただくことが、私たち在宅診療部の何よりの願いです。どのようなことでもご相談ください！
私たちも患者様やご家族が大切にされているものを、ともに大切にしながら診療することに喜びを感じています。



自宅で療養生活をサポートします!

～大同訪問看護ステーションのご紹介～

訪問看護ステーションって何をしてくれるの?

継続して介護や治療が必要な方が、安心して自宅で生活できるようにその療養生活をお手伝いします。ご本人ができる限り自立した生活を営むことができるよう、生活の維持または向上を目指すとともに、ご家族の介護負担の軽減や介護相談を行い、精神的サポートにも努めます。



どんな人を対象にどんなサービスを提供しているの?

赤ちゃんから高齢者までと年齢層は幅広く、病気やケガなどにより自宅で継続して療養を受ける状態の方で、かかりつけの医師が訪問看護を必要と認めた方です。例えば…

- 糖尿病などで入退院を繰り返している、認知力の低下や認知症がある、嚥下機能が低下している、痛みや不快な症状がある方
- 人生の最終段階を自宅で過ごしたいと希望している方
- 医療処置が必要である、薬がうまく飲めない・飲み忘れがある方
- 退院直後で身体機能が低下しており、自宅での生活に不安がある方
- 健康を維持したいが、ひとりでは自信のない方、転倒の既往がある方

提供するサービスは、病状の観察、日常生活の看護(食事の支援や排泄のお世話、清潔援助)、気分転換活動、褥瘡予防や処置、医師の指示によるドレーンなどの医療器具の管理(人工呼吸器、気切、胃瘻、人工肛門、排液チューブ類、尿管管理、在宅酸素、定期点滴など)、終末期ケア、生活リハビリ、介護方法の相談・指導などです。また、訪問時の状態に応じて、主治医や担当ケアマネージャーなど関係職種と連携をとって対応します。



大同訪問看護ステーションの特徴とは

当事業所は大同病院1階の患者サポートセンター内にあり、医療相談室、大同居宅介護支援事業所も併設されており、十分に連携をとっています。また当院以外の主治医とも連携をとり、ご本人やご家族が不安にならないよう速やかな対応を心がけています。24時間体制で相談や訪問に対応しています。

看護師7名(常勤は5名)、理学療法士3名、作業療法士1名が在籍しており、医療依存度が高い方でも自宅で過ごしたいと希望される方やそのご家族に、少しでも自宅で過ごせてよかったと思えるような看護・リハビリを目指しています。

利用したいと思われた方は、かかりつけ医や担当のケアマネージャー、当院の医療相談室でご相談下さい!





食育などに関する絵本

「びょうきからまもってくれるたべもの みどりのえいようのなかまたち」

食べ物の中でも、野菜嫌いなお子さんは多いのではないのでしょうか。季節問わず一年中いろんな野菜をお店で手に入れることができる現代では、野菜の匂や実る姿はなかなか見えにくいものです。しかし、そういった育ちの部分をきちんと知ってもらえたら、興味が生まれ、嫌いな食べ物との距離が少しだけ縮まるかもしれません。

この絵本のシリーズは、食べ物を4つの色のグループに分け、それぞれの種類や生まれるまでの様子かわいい絵とともに紹介しています。

いきいきの森では、こうした健康や体についてお子さんに楽しく学んでもらえる絵本を、少数ですがご用意しています。ぜひお越し下さい。

この食育絵本のシリーズは、ほかに、「じょうぶなからだをつくるたべもの」「つよいちからがでるたべもの」をご用意しています。



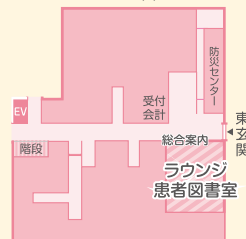
「いきいきの森」のご案内

ご利用時間・方法

月～金 8:30～17:00
土 8:30～14:00
(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

貸出希望の方は総合案内のスタッフに声をかけて下さい

A棟



冬も油断大敵!! 病原性大腸菌

今年の夏、ポテトサラダを食べた患者の便より腸管出血性大腸菌O157が検出され、話題となりました。また2011年には、焼肉チェーン店でO111による集団食中毒が発生し、4名の方が亡くなりました。2016年には、全国で252名(うち、愛知県は3名)の届出報告があります。

大腸菌とは、健康なヒトの大腸内で生息し、環境内にも広く分布している微生物ですが、中でも胃腸炎症状を起こす大腸菌を「病原性大腸菌」あるいは「下痢原性大腸菌」と呼びます。

病原性大腸菌の一種であるO157に代表される腸管出血性大腸菌は、血液が混じった下痢を起こすことからこのように呼ばれます。症状は腹痛と水っぽい下痢で、発症した翌日には血便がみられることが多いです。潜伏期間は3日～5日で、平均8日程度で回復すると

されています。しかし溶血性尿毒症候群(HUS)になると、腎臓などの障害を引き起こし、重症化することがあります。小児や高齢者ではHUSを発症する割合が高く、注意が必要です。

腸管出血性大腸菌は熱に弱く、75℃、1分以上の加熱で死滅します。家庭での予防策としては、食肉の十分な加熱、手洗いが有効です。厚生労働省のホームページに、家庭でできる予防のポイントがのっていますので、参考にしてみてください。(「厚生労働省 大腸菌」などで検索してみてください)

冬はノロウイルスなどに関心が集まりがちですが、病原性大腸菌にもご注意ください。



イベント案内

★オータムコンサートを開催しました(11月18日)

1部は、寺本勇司さんのけん玉パフォーマンス。難しい技に魅了されました。会場のお子さんもけん玉に挑戦し、楽しいショーとなりました。2部は、悠情楽団によるフィドル・ピアノ・ギターのコンサート。時にステージを下りて聴衆の目の前で演奏し、大いに盛り上がりました。

最後に、ご来場の方には、会場に設置した巨大クリスマスツリーに飾りつけをしていただきました。



★クリスマスコンサートを開催しました(12月16日)

だいどうオーケストラクラブと名古屋南ロータリークラブ様が出演。「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」といった定番曲を中心に演奏しました。会場には3mを超える大きなツリーを飾り、サンタさんがプレゼントを配るなど、クリスマスムード満点のコンサートでした。



★病院祭を開催しました(11月19日) ※表紙写真

台風のため一度は延期しましたが、冬の訪れを感じる気候の中、多くの方にご来場いただきました。家族連れに人気の体験メニュー、市民公開講座や健康チェックのほか、ステージではコンサートが目白押しでした。



★市民公開講座を開催中(12月～3月)

南区内では「がん」を、緑区内では「脳卒中・高血圧」をテーマとした市民公開講座を開催しています。参加は無料。アットホームで気軽に質問できる勉強会ですので、ぜひお越しください。



老健イベント

クリスマス会では、各フロアスタッフの出し物、プレゼントの配布を行いました。利用者様の笑顔に、こちらも温かい気持ちになりました。

来年も行事を企画していますので、お楽しみに!

今後の開催予定

★ボランティア公演(民芸ポケット様)

開催日時 2018年2月7日(水)10:00～11:00

★ひな祭り会(葵第二幼稚園様)

開催日時 2018年3月上旬(予定)



今後の開催予定

★糖尿病教室

開催日時 2018年1月11日(木)、3月8日(木)14:00～

開催場所 だいどうクリニック5階講堂

★市民公開講座 健康セミナー テーマ「がん」

開催日時 2018年2月17日(土)、3月17日(土)

10:30～11:30

開催場所 白水コミュニティーセンター1階和室

★市民公開講座 健康セミナー テーマ「脳卒中・高血圧」

開催日時 2018年1月27日(土)、2月10日(土)、3月24日(土)

13:00～14:00

開催場所 大同みどりクリニック2階スタジオ



名古屋市立大学学生によるCOPDの啓蒙活動

名古屋市立大学の学生さんが、地域参加型学習の一環として当院呼吸器内科で実習をしました。彼らからのメッセージです。

喫煙により引き起こされる病気慢性閉塞性肺疾患(COPD)

COPDとは、タバコの煙を主とする有害物質を長期間にわたって吸入することにより生じる肺の炎症疾患です。重度になると体を動かすだけで呼吸困難になるなど、日常生活に大変大きな影響を及ぼす疾患で、早期に発見し治療することが重要です。しかし、認知度が非常に低いため、約500万人いると言われていた患者のごく一部しか治療を受けていないのが現状です。この病気は早期の治療によって進行を大幅に遅らせることができ、数年後の生活に大きな差が出ます。これからも健康な生活を送るためにも、喫煙されている方や身近に喫煙者のいる方は、一度病院で相談されてみてはいかがでしょうか。

参考文献：「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 第4版」日本呼吸器学会、メディカルレビュー社
文責：名古屋市立大学医薬看護連携地域参加型学習L班、名古屋市立大学医療系学部研究科連携教育委員会 監修：大同病院 西尾昌之

水野医師が厚生労働大臣表彰を受賞しました!

当院副院長の水野美穂子医師が、母子保健の向上などに対する長年の尽力を認められ、厚生労働大臣表彰をいただきました。



技師の勉強会活動がマスコミに掲載されました!

当院の診療放射線技師 中村登紀子さんは、乳がん検診のためのマンモグラフィー検査を担当する技師を対象に、子連れで参加できる勉強会を主催しています。10月、この勉強会活動が、中日新聞に取り上げられました。当院はその開催を支援しており、女性の社会進出を応援しています。

職員情報

退任医師のご案内

12月31日退任 山崎 由紀子 外科

講演会・研究会案内

医療安全講演会(10月20日)

テーマ：安全から質向上へ～今こそ全員参加で～

講師：安田 あゆみ 先生(藤田保健衛生大学病院医療の質・安全対策部医療の質管理室 教授)

名古屋呼吸器疾患フォーラム(11月25日)

テーマ①：特発性肺線維症の治療法

講師：大久保 仁嗣 先生(名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学 教授)

テーマ②：COPD最新の診療

講師：松瀬 厚人 先生(東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科 教授)

がん免疫療法セミナー(12月6日)

テーマ：免疫チェックポイント阻害剤が変える胃癌治療

講師：室 圭 先生(愛知県がんセンター中央病院薬物療法部 部長/外来化学療法センター長)

医師対象の勉強会のご案内

2月16日(金) 第4回 緑・大同病診連携研究会

開催時間：20:00～21:30

開催場所：緑区休日急病診療所

テーマ：脳梗塞

講師：辻内 高士 医師(大同病院脳神経外科)

2月22日(木) 地域で診る病診連携の会

開催時間：20:00～21:30

開催場所：だいでうクリニック

テーマ①：糖尿病と膵臓

講師：宜保 憲明 医師(大同病院消化器内科)

テーマ②：低血糖

講師：寺島 康博 医師(大同病院糖尿病・内分泌内科)

2月27日(火) 第6回 南・大同地域連携研究会

開催時間：20:15～21:45

開催場所：南区医師会館

テーマ①：リンパ節腫脹

講師：伊藤 公人 医師(大同病院血液・化学療法内科)

テーマ②：認知症の介護

講師：小鹿 幸生 医師(大同病院総合内科)

3月3日(土) 第2回 大同病診連携研究会

開催時間：16:00～18:00

開催場所：だいでうクリニック

テーマ①：肺抗酸菌症

講師：沓名 健雄 医師(大同病院呼吸器内科)

テーマ②：皮疹

講師：北島 康雄 先生

(社会医療法人厚生会 木沢記念病院 院長)

開催予定はホームページの最新情報にてご確認ください。



あなたの町の「かかりつけ医」

あなたの町の「かかりつけ医」

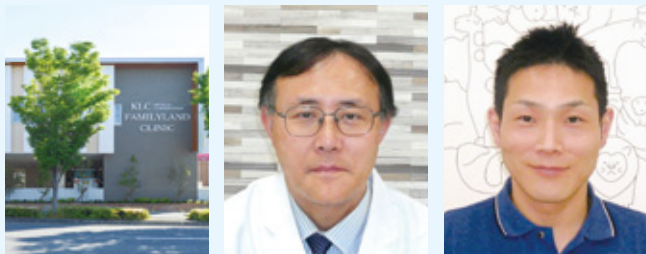


COMMUNITY MEDICINE COOPERATION

名古屋市緑区南大高

内科、呼吸器内科、小児科、アレルギー科

ファミリーランドクリニック南大高



データ

DATA

住所 名古屋市緑区
南大高4-1805
電話番号 052-623-0050
院長 加藤 研
副院長 蟹江 健介
診療科目 内科、呼吸器内科、
小児科、アレルギー科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 14:30~15:30	△	×	△	×	△	×	×
午後 16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

△…小児科のみ、乳幼児健診・予防接種(予約制)

加藤 研先生・蟹江 健介先生

Q1.患者様はどのような疾患の方が多いですか？

小児科は風邪、胃腸炎、アレルギー疾患などが多いです。内科は風邪、胃腸炎、アレルギー疾患、生活習慣病などが多く、専門の気管支喘息、咳喘息、睡眠時無呼吸症候群など相談いただいております。

Q2.地域のかかりつけ医として、日頃どのようなことに気を配っていますか？

患者様の不安を先読みし、安心を提供できるよう気を配っております。また1分1秒でも待ち時間を短縮できるよう努めております。

Q3.診察において興味をもっている、今後力を入れていきたい分野は何ですか？

舌下免疫療法、睡眠時無呼吸症候群に対する経鼻的持続陽圧呼吸療法、外傷やけいに対する湿潤療法、イボに対するスプレー式液体窒素療法、小児食物アレルギーに対する食物負荷試験などです。

Q4.これを手に取ってくださった患者様へ一言アピールをお願いします。

患者様の立場で考え、患者様に寄り添い、町医者として最高の医療を提供できるようスタッフ一丸となって診療を行ってまいります。

東海市富貴ノ台

内科、外科、皮膚科

医療法人嚶鳴会 如来山内科・外科クリニック



データ

DATA

住所 東海市富貴ノ台
二丁目165
電話番号 052-689-0900
院長 平松 義文
診療科目 内科、外科、皮膚科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 16:00~19:00	○	○	×	○	○	×	×

平松 義文先生

Q1.患者様はどのような疾患の方が多いですか？

総合診療を行っており、疾患は多岐に渡ります。どこの病院に行けばよいか迷われた場合に来院される患者さんが多くおられます。患者さんの年齢層も0歳児からご高齢の方までおられます。

Q2.地域のかかりつけ医として、日頃どのようなことに気を配っていますか？

理想とする、いつでもなんでも診られ、患者さんに優しい医療、在宅療養をサポートする医療を行っています。

Q3.診察において興味をもっている、今後力を入れていきたい分野は何ですか？

今の医療は「やり過ぎの医療」が多く、残念ながら、実際には医者中心、看護師中心の医療がほとんどです。

私たちのチームは、患者さん本人が望まれること、「人としての尊厳」を大切にすることを最優先にした在宅医療に力を入れております。

Q4.これを手に取ってくださった患者様へ一言アピールをお願いします。

当院では、今年も総合診療、在宅医療を中心に地域に根差した理想の「かかりつけ医」となるよう、スタッフ一同専心してまいります。

沿革

昭和	14年 9月	大同製鋼(株)の病院部門として大同製鋼病院を開設
	23年 8月	大同病院に名称変更
	38年 4月	看護学校開設
	46年 4月	病院改築工事 完成(病床数400床)
	60年 3月	総合病院承認
	60年 4月	医療法人宏潤会 大同病院として独立開設
	60年 12月	基準看護病院承認(特1類)
	元年 5月	大同老人保健施設開設(147床、デイケア3床)
	11年 4月	大同訪問看護ステーション開設
	11年 8月	大同居宅介護支援事業所開設
平成	13年 4月	特別養護老人ホーム「ゆうあいの里 大同」開設
	15年 4月	臨床研修指定病院承認
	15年 7月	新A棟完成(病床数404床)
	16年 6月	日本医療機能評価機構認定(Ver.4.0)
	17年 10月	「急性期入院加算」認定
	18年 5月	DPC対象病院「7対1看護加算」認定
	18年 7月	電子カルテ導入
	18年 10月	だいでうクリニック開設
	19年 11月	集中治療室(6床)開設
	20年 5月	救急センターリニューアルオープン
	21年 2月	患者図書室「いきいきの森」開設
	21年 6月	日本医療機能評価機構認定(Ver.5.0)
	22年 4月	中央クリニック開設
	23年 4月	社会医療法人認定(救急事業)
	23年 6月	内視鏡センターオープン
	23年 12月	社会医療法人追加認定(小児救急事業)
	26年 8月	新B棟オープン
	27年 3月	日本医療機能評価機構認定(3rdG:Ver.1.0)
	29年 5月	大同みどりクリニック開設

宏潤会 施設および関連施設等

予防接種センター	〒457-8511 名古屋市南区白水町8番地 TEL.052-611-8650 FAX.052-611-8651
健診センター	TEL.052-611-8680 FAX.052-611-8683
地域医療連携室	TEL.052-611-1122 FAX.052-611-1021
大同老人保健施設 訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所	〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地 TEL.052-611-8605 FAX.052-611-8909 TEL.052-613-1266 FAX.052-613-3272 TEL.052-611-8608 FAX.052-611-8686
大同福祉会 ゆうあいの里大同	〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL.052-612-3030 FAX.052-612-3076
中央クリニック	〒476-0015 東海市東海町5丁目3番地 TEL.052-603-7310 FAX.052-603-7087
大同みどりクリニック	〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字矢切37番地 TEL.052-891-4157 FAX.052-891-4160



大同病院

〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地
TEL.052-611-6261 FAX.052-614-1036

診療科目

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| ◆総合内科 | ◆放射線診断科 | ◆小児科(新生児) |
| ◆老年内科 | ◆放射線治療科 | ◆産婦人科 |
| ◆血液・化学療法内科 | ◆精神科 | ◆泌尿器科 |
| ◆糖尿病・内分泌内科 | ◆一般外科 | ◆耳鼻咽喉科 |
| ◆腫瘍内科 | ◆消化器外科 | ◆眼科 |
| ◆循環器内科 | ◆呼吸器・心臓血管外科 | ◆皮膚科 |
| ◆呼吸器内科 | ◆乳腺外科 | ◆歯科口腔外科 |
| ◆消化器内科 | ◆小児外科 | ◆歯科 |
| ◆内視鏡内科 | ◆脳神経外科 | ◆リハビリテーション科 |
| ◆神経内科 | ◆整形外科 | ◆臨床検査科 |
| ◆腎臓内科 | ◆麻酔科 | ◆病理診断科 |
| ◆腎血液浄化科 | ◆麻酔科(ペインクリニック) | ◆救急科 |
| ◆膠原病・リウマチ内科 | ◆小児科 | ◆外来化学療法室 |
| ◆緩和ケア内科 | ◆小児アレルギー科 | |



だいでうクリニック

だいでう 〒457-8511 名古屋市南区白水町8番地
クリニック TEL.052-611-6262 FAX.052-611-8625

診療科目

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| ◆総合内科 | ◆放射線科 | ◆小児科 |
| ◆老年内科 | ◆精神科 | ◆小児アレルギー科 |
| ◆血液・化学療法内科 | ◆一般外科 | ◆内分泌小児科 |
| ◆糖尿病・内分泌内科 | ◆消化器外科 | ◆呼吸器小児科 |
| ◆腫瘍内科 | ◆呼吸器・心臓血管外科 | ◆産婦人科 |
| ◆循環器内科 | ◆女性外科 | ◆泌尿器科 |
| ◆呼吸器内科 | ◆乳腺外科 | ◆耳鼻咽喉科 |
| ◆消化器内科 | ◆肛門外科 | ◆眼科 |
| ◆神経内科 | ◆小児外科 | ◆皮膚科 |
| ◆腎臓内科 | ◆形成外科 | ◆臨床検査科 |
| ◆腎血液浄化科 | ◆脳神経外科 | ◆病理診断科 |
| ◆膠原病・リウマチ内科 | ◆小児脳神経外科 | ◆健診センター |
| ◆緩和ケア内科 | ◆整形外科 | ◆予防接種センター |

専門外来

- ◆呼吸ケア外来 ◆禁煙外来 ◆睡眠時無呼吸症候群:SAS外来
- ◆小児専門外来(アレルギー、循環器、心理、心身、内分泌、肥満、栄養指導)

だいでうクリニック予約センター

TEL.052-611-6265

当日受診の予約受付 8:30~11:30

翌日以降受診の予約受付&変更 11:30~17:00(土曜日14:00まで)

地域医療連携室

TEL.052-611-1122 FAX.052-611-1021

バックナンバーのご案内

「みんなのひろば」のバックナンバーは、大同病院ホームページでご覧いただけます。

- ◆ホーム ◆施設案内・取り組み ◆広報誌 ◆みんなのひろば

